

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111
郵便振替口座 00180-1-623433
©下野新聞社2018読者室 028-625-1179
(受付 月～金・午前10時～午後6時)
編集局 028-625-1121
販売 028-625-1120(販売)
事業局 028-625-1134(事業・教育)
営業局 028-625-1133(広告)

PC・スマホ・携帯でも

下野新聞

下野新聞社ホームページ
<http://www.shimotsuke.co.jp/>

電子号外

下野新聞購読お申し込みは
フリーダイヤル
0120・810081購読で、スマホで最新のニュースを!!
下野新聞
SOON
月額 250円・税別
下野新聞 検索直木賞に門井さん
宇都宮出身

3回目の候補で直木賞を受賞した門井慶喜さん

第158回芥川賞、直木賞(日本文学振興会主催)の選考会が16日午後5時から東京・築地の料亭「新喜楽」で開かれ、直木賞は宇都宮市出身の門井慶喜(かどい よしのぶ)さん(46)の「銀河鉄道の父」(講談社)に決まった。門井さんは2015年の「東京帝大叡古(えいこ)教授」、16年の「家康、江戸を建てる」に続く3回目の候補で念願の直木賞を手にした。

「銀河鉄道の父」は、37歳の若さで亡くなった宮沢賢治(みやざわけんじ)の生涯を父政次郎(まさじろう)の視点で描いた作品。

3度目の候補で念願

受賞作「銀河鉄道の父」

選考会に先立ち都内で行われた記者会見で、門井さんは「賢治と父親の関係を書きたかった。父子というテーマは現代的でもあり、読者が共感できると思う」と執筆の動機を説明。「ただけるなら、ぜひ取りたい」と心境を語っていた。

門井さんは宇都宮東高から同志社大文学部卒。帝京大理工学部の職員をしながら小説を執筆し、2003年「キッドナツパズ」でオール読物推理小説新人賞を受賞。16年には「マジカル・ヒストリー・ツアー」で日本推理作家協会賞。大阪府寝屋川市在住。

本県関係の直木賞は、1994年に中村彰彦(なかむらあきひこ)さん(栃木市出身)の「二つの山河」が受賞して以来。